

よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! ⑬

プログラム13 全体アクションプラン委員会

2月26日(土) 辰口健康福祉センター 14時~16時

31名の

参加のもと開催されました。

※ 以下の文中において、アクションプランを「AP」と、春まちぽかぽかプロジェクトを、「ぽかぽかP」と略して、表記してあります。

日	月	火	水	木	金	土
						2/12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

内容・まとめ

今年度、初めての試みとして、4つのAP委員会委員が一堂に会して、自分の所属するAP委員会以外の委員と、年度の終わりに当たり意見交換を行いました。

初めに、高塚AP推進協議会長から、「H23年度は、市の地域福祉計画の2次の策定が始まるが、我々のこの活動計画3年目の取り組みから、市の計画につなげていくことがなにか、あるのではないか」という点を頭に入れて、本日の話し合いをしたい」と開会の挨拶がありました。

引き続き、かわら版をもとにして、各AP委員会委員長より、ぽかぽかPでの取り組みが報告されました。いずれも、多くの市民の参加があったことに対する感謝のことばと、これから、取り組んでいくべき方向についての報告がされていました。

また、「能美たすかったわ~大賞」の最終選考も行われ、参加された委員により、大賞1点、優秀賞2点、審査委員会特別賞1点が決定しました。発表及び表彰式は、3月12日(土)午後7時から、根上総合文化会館で行われる「地域福祉委員会重点地区活動報告会」で行われる予定です。最後に、4つのAP委員会の委員が、7つのグループに分かれて、ぽかぽかPに参加しての感想や振り返りを行いました。グループワークの前にサンバでふれあったり、ケーキやお茶なども出されたこともあって、グループワークは、和やかな雰囲気の中で、いろいろな意見が出されていました。

閉会の挨拶として、西川AP推進協議会副会長は、「今年度のぽかぽかPの参加者数は、1159名だった」との紹介があり、「参加者数の増加ということではなく、市民の積極的な姿勢の参加が増えたように思う。ただ、このような場所や機会に参加できない人、しない人にどう配慮するかが、これからの課題のひとつ」と指摘し、盛況だった今年度のプロジェクトを締めくくられました。

参加者の感想

- * たくさんの方々の参加にびっくりした。福祉に関心を持つ人が、確実に増えてきているように思った。能美市の福祉は、「まだまだ大丈夫だ」と、うれしく思った。
- * 地域で暮らす障がい者にも目を向け、共感をしていくこと、そのためには、障がいの理解をするための学習会などの開催を!
- * 立場の違ういろいろな人が集まり、話し合う、この機会こそが大事だ。
- * 身近な公民館を地域福祉活動の拠点としてもうまく考えていけないか?



まさに「よろっさ やろっさ つなごっさ! 住民主体の福祉のまちづくりが、ここから、はじまります!

